

-----10月21日----- 2024年

※ 今週のアウトルック (10/21~10/25)

先週も先々週に引き続き、各通貨ペアとも非常に狭いレンジ内での動きとなりました。一時的に普段はあまり注目されない経済指標でも、良好（あるいは悪い）な結果が出れば、ある程度は動くのですが長続きはしない状況です。

今週も今後のトレンドを方向付けるような動きとなる可能性は、低いように思います。

先週のドル円は、148 円付近から 150 円前半までの非常に狭いレンジ内の動きに終始しました。

木曜日に一時的に 150 円を超えた上昇となりましたが、長続きはしていません。

今週も先週と似たようなレンジ内での動きとなる可能性が高いように思います。ただ、材料不足の中、普段はあまり注目されない経済指標の良し悪しや、ちょっとした要人発言でも大きく動いてしまう可能性はあるので、注意が必要なように思います。

ドル円の予想レンジは 146 円から 152 円です。

ユーロドルは 1.08 付近をサポートラインとして、下げ止まったかの様相を見せています。このまま 1.08 を割り込まなければある程度反発する状況は期待できます。一方、ユーロ円は 161 円後半から 163 円後半あたりまでの、狭いレンジ内での動きとなっています。こちらは今週も似たような動きとなる可能性が高いかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは 159 円から 165 円です。

ポンドドルも 1.3 付近をサポートラインとして下げ止まった様相を見せています。ポンド円は 196 円付近のレジスタンスをブレイクできれば 200 円付近までの上昇も期待できるかもしれません。

ポンド円の予想レンジは 190 円から 200 円です。

各通貨ペアとも、レジスタンスをブレイクできずに小康状態が続いています。この状況がもうしばらく続いた場合には、一度下落する可能性が高まるように思います。

*免責事項*当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。